



第5回の上伊那の仕事と暮らしにご登場いただくのは株式会社信州ウエストです。信州ウエストでは、法人向け・一般家庭向けの廃棄物の処理や法人からのプラスチックの買い取りなどを行っています。読者の皆様は「廃棄物の処理」という言葉にどのようなイメージを持つでしょうか？

今だからこそ「SDGs（持続可能な開発目標）」という言葉や考え方が普及してきていますが、実は上伊那地域では何年も前から信州ウエストがその一端を担っていました。今回は皆様の生活の一部を支える廃棄物処理業界で働く人々がどのような取り組みをしているか一緒に見て行きたいと思います。

業界イメージの払拭を!!

「3K（怖い・臭い・汚い）と言われていた産廃業者のイメージを払いたいです。」と明るく話し出したのは営業課長の鹿野さん。

【営業課】 鹿野さん



「当社はそのイメージを掃しようと思わずに、さまざまな取り組みをしています。例えば、従業員へのユニフォームの提供がその一例です。お客様の元へ行くのは、格好よくてきれいなユニフォームのほうが印象が良いと思いませんか？」とお気に入りのユニフォームを着た鹿野さんは笑顔で語ります。

他にも気持ちの良いあいさつの徹底や空き家の不用品の搬出・清掃を依頼された際は、必ず最後に「カピカ」に掃除するなど、業者として信頼される行動をするように徹底しています。

また、業界では珍しく新卒の採用枠も設け、インターンシップの受入れやSNSを活用した情報発信にも積極的です。

「様々なことで機械化が進む世の中ですが、回収作業は機械化できず、必ず人手が必要なので、働く人々の環境整備や人間関係には特に気を配っています。」と話してくれました。



不用品の処理費の目安を回答！
源さんLINEの友達登録は
上記のQRコードから



上伊那に来て本当に良かった!

「東京は遊びに行くところで十分。就職は絶対に県内です」と決めていました。と笑顔で話すのは営業 広報担当の佐久さん。

【入社2年目】 佐久さん



佐久さんは、県内の高校を卒業後、都会での生活に慣れて埼玉の大学に進学しましたが、山がない窮屈な都会ではなく、家族の近くで緑豊かな県内に就職することを決めました。信州ウエストに出会ったきっかけについて

「車を少し移動すれば何でもそろっているので生活しやすいです。あとは景色が開けているのも魅力の一つです。」と語ってくれました。

休日にはフルーツ狩りやバレーボール観戦、マレットゴルフと、アクティブに上伊那地域を楽しんでいる佐久さんです。「就職を機に上伊那に来て良かった!」と笑顔で話してくれました。



お客様に頼りにされて嬉しい。

本社の一般部門に勤務する伯耆原さんは、人事担当者の人柄や会社の雰囲気直感で自分に合うと感じ、入社を決めました。

「うれしいです。」と話す伯耆原さん。空き家の不用品の搬出・清掃は大変ですか?という質問に対して、伯耆原さんは「搬出・清掃は一般家庭担当の4名総動員で頑張って作業を行います。大変ではありますが、終わった後の達成感は何となくあります。」と答えてくれました。

現在の仕事は、一般家庭の不用品の処分で見積りから回収、分別処理を貫いて行うことです。「フレコンバックという回収袋を一般家庭に貸し出し、分別が分からない物や処分困る物を袋に入れてもらい、いっぱいになったら回収するというサービスが好評です。ゴミの分別や処理について相談を受けることも多く、頼りにされています。

休日には趣味のバイクを楽しんでおり、最近では会社の仲間と愛知との県境にある茶臼山高原にツーリングに出掛けたそうです。そのほかにもオリジナルステッカーの作成や料理など、気になることは何でもやってみたいという多趣味な伯耆原さんです。



【入社2年目】 伯耆原さん



上伊那地域については「仕事で出会うお客様と話しているうちに知り合ったり、知り合ったり、知り合の兄弟だったり、みんなつながってきます。いろいろな人のつながりがあるから地元が好きだし、過こしやすいです。」と話してくれました。



株式会社信州ウエストの取材を終えて

就職を決めた理由についてお二人とも「社員の雰囲気が良かった」と答えてくれました。仕事は体力的に大変な場面もありますが、職場の人間関係が良好で休日も充実しているため、良い毎日をお過ごしであり、まさに「仕事と暮らし」のバランスが取れている生活をお過ごしと感じました。SDGsの先駆けの信州ウエスト、今後の更なる活動に注目です。



LINE登録
上伊那の就職情報
も発信しています。